

市議会だより おが

No. **84**
2024
令和6年11月1日
発行

7月臨時会
9月定例会



入道埼灯台まつり

9月定例会の動き

8月	9月
27日	12日
招集告示	決算特別委員会
議会運営委員会	17日
	常任委員会・分科会
	25日
	教育厚生委員会協議会
3日	会派代表者会議
本会議（※表決）	予算特別委員会
（議案上程）	議会運営委員会
5日	本会議（表決）
本会議（一般質問）	
6日	
本会議（一般質問）	
9日	
本会議（一般質問）	
10日	
本会議（議案質疑）	
予算特別委員会	

※公営企業会計決算

記事内容

7月臨時会・9月定例会から	P 2～P 3
議案質疑	P 3
決算特別委員会・議会報告会	P 4～P 5
一般質問	P 6～P 9
予算特別委員会・討論・表決状況	P 10
常任委員会の動き・陳情・意見書	P 11
編集後記等	P 12

ちいき本棚

無料アプリ「SideBooks」
で「おが市議会だより」
がご覧になれます。



マチイロ

無料アプリ「マチイロ」
で「おが市議会だより」
を配信しています。



7月臨時会
9月定例会

7月臨時会は7月31日に招集され、各公営企業会計決算案（みなと市民病院事業会計・企業局事業会計）を継続審査としたほか、条例改正案や一般会計補正予算案を可決しました。9月定例会は9月3日に招集され、25日までの23日間の会期で開かれました。初日には、7月臨時会で継続審査としていた各公営企業会計決算案を全会一致で認定しました。また、一般会計や各特別会計の決算案のほか、条例改正案や一般会計補正予算案など13議案が市長から提案され、国民健康保険条例改正案については反対討論がありました。起立採決の結果、全ての議案を認定・可決としました。さらに、最終日に提案された財産取得の追認議決案および人権擁護委員推薦案をそれぞれ可決・異議なしとしたほか、議案案1件を可決とし閉会しました。

※会議録は「男鹿市議会会議録検索システム」からご覧いただけます。

可決した主な議案

7月臨時会

- ガス供給条例の一部改正
《主な内容》電気・ガス価格激変緩和対策等事業の酷暑乗り切り緊急支援として家庭や企業等のガス料金の値引きを行うもの。
- 《令和6年度予算》
- 一般会計補正予算（第3号）
《主な内容》5月の暴風・波浪により被害を受けた漁業者の経営再建を支援するための経費を措置したもので、歳入歳出それぞれ1千58万5千円を追加するもの。

9月定例会

- 《令和5年度決算認定》
- みなと市民病院・上水道・ガス・下水道事業会計決算
- 一般会計歳入歳出決算
- 国民健康保険・診療所・介護保険・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 《条例》
- 印鑑条例の一部改正
《主な内容》印鑑登録証明書をコンビニエンスストア等で交付することができるようにするもの。
- 斎場条例の一部改正
《主な内容》斎場使用料の料金体系を改めるもの。

度全会計 決算「認定」

182億2,252万円・歳出176億2,272万円
確保・将来負担の抑制」策を質す！

令和5年

一般会計歳入
「自主財源の

7月臨時会

- 定額減税調整給付金等の取組状況について
「定額減税調整給付金」、「低所得世帯支援助物価高騰対策特別給付金」、「低所得子育て世帯特別給付金（こども加算）」の支給予定が示されました。
- また、9月定例会の各常任委員会では、9月時点の支給状況が報告され、それぞれ90%を超える支給率が示されました。

9月定例会

- 斎場条例・保育園条例の一部改正について
斎場の大規模改修に伴い、斎場使用料の料金体系を改める条例改正案で、本市住民の使用料を無料とし、本市住民以外は増額するとしています。これまで特段、市民からの



▲大規模改修を終えた斎場

不適切な事務処理2件について

- 「船越こども園」は、9月末時点で建物の躯体工事がおおむね終了し、外装仕上げや内装工事を実施しています。また、旧若美幼稚園を改修する「わかみべー園」は、8月から工事に着手しており、来年2月の完成を目指しています。

養護老人ホームの入所者から徴収する「入所者負担金」について

- 令和2年度以降の4年間で約700万円余りの過少徴収があったとの事実が発覚し、定例会最終日、所管

- の教育厚生委員会協議会や会派代表者会議が急遽開催され、再発防止や信頼回復に努めるよう当局に強く求めました。
- また、本年6月に入札を実施したスクールバス2台について、議会の議決を経ずに2

- 千90万円で売買契約を締結していたとの報告もあり、定例会最終日には、議決を欠いた瑕疵を治癒するため、売買契約の追認に係る議案が追加提案され、チェック体制の不備や再発防止策、市政に対す

- る信頼回復など、厳しい指摘や意見を含めた議論が交わされましたが、購入に当たり国のへき地児童生徒援助費等補助金を財源としている事情等に鑑み、起立採決の結果、全会一致で可決しました。

議案質疑

9月定例会

国民健康保険条例の一部改正について

質疑 改正内容は、

マイナ保険証が導入されることに伴い、国民健康保険法に準じて「被保険者証の返還に応じない者に対する過料の規定」を削除するものである。

斎場条例の一部改正について

質疑 大規模改修によって施設の利用性が向上されるにも

- この施策は、現在、本市在住の方々が「この街に住み続けたい」「この街で一生を終えたい」と思える地域づくりを目指すにあたり、様々な積み重ねる施策の一手と考えており、地域のために尽くしていただいていた方々に安心して人生の最後を迎えていただきたい、地

- かかわらず、「市民は使用料を無料」とする、妥当性を含めた背景や理由とは何か。
- 答 斎場は他の施設と違い、人によって利用頻度が違う、特定の人が利益を享受するという施設ではなく、人の一生のうち1回しか使わない、使えない施設であるため、ある意味極めて公平に使われる施設と言える。だとすれば、受益者負担の割合を低く設定し、市民は無料化のうえ、より多くの公費を投入し、市民全体で支えるという考え方もできる。

- 区域を愛する者として親・祖先に敬意を払うといったメッセージを込めた、全世代に向けた住民サービスと考えている。
- 質疑 市民負担をゼロにするということは、当面、行財政改革には蓋をするという理解でよいのか。
- 答 「財政の健全化、財政規律の確保」が非常に重要なものであるという認識はいささかも変わっていない。
- 例えば、将来負担比率の数値は低下してきているとはいえず、ここ数年、大規模な公共投資等が続き、決して安心できる状況ではない。
- 行財政改革については不断の取組を行うということが基本的な考えであり、この後、安易に行政サービスの「無料化」を行う考えはない。

財産の取得（追認）について

- まず行政職員としての基本的な知識の習得を徹底することが必要であり、いまま一度、組織全体としての再発防止策を検討する。
- 結果を取りまとめ次第、議会の意見を伺う機会を設けたらと考えているところである。

令和6年度予算

- 一般会計補正予算（第4号）
《主な内容》船越こども園新築工事のスライド条項適用に伴う工事費の増額のほか、市の情報管理体制の強化、冬季の観光誘客の促進、男鹿駅周辺の鳥ふん被害対策に要する経費などを措置したもので、歳入歳出それぞれ4千761万5千円を追加するもの。
- 上水道事業会計補正予算（第1号）
《主な内容》令和5年12月28日に発生した滝の頭水源かんがいため池崩落箇所の機能回復に要する経費を措置したもので、収益的収支の支出で1千322万2千円の増額を見込んだもの。

その他の

- 財産の取得（追認）
《主な内容》議会の議決を経ずにスクールバス2台の物品売買契約を締結したことについて、議会の追認を得ようとするもの。
- 人権擁護委員の推薦
武田 英昭（男鹿中）
渡部 恵子（船越）
他1件
- 議員提出議案
意見書1件

公営企業会計

決算特別委員会

7月臨時会では、令和5年度病院事業会計および企業局会計決算案（上水道、ガス、下水道）について審査するため、議会議長、副議長、議員15人で構成する決算特別委員会（三浦利通委員長、田井博之副委員長）を設置・付託し、継続審査としました。翌日開催された委員会では、審査の結果、いずれも全会一致で認定しました。委員会で質疑のあった中から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

病院事業会計



5年ぶりに赤字決算となったみなと市民病院

質疑 14億3千449万2千円の累積欠損金を解消するための計画や、今後の見通しに関する見解は。

答 本業としての医療収益の向上や、委託料等費用の削減に努めるなど、収益の改善によって毎年度の黒字化を図っていくことが、累積欠損金の減少にもつながっていくものと認識している。

また、病床利用率を向上させることは収益の向上につながることはなるが、ここ数年、病床利用率は低調に推移しており、令和5年度においては、暖冬で転倒・骨折等の患者が減少し、例年増加する傾向にある11月頃からの手術件数が減少したほか、三度にわたるコロナウイルス感染症の院内クラスターが発生したことが原因で、ベッドコントロールの停滞を招いた状況であった。

今後は、病床利用率を上げるための適切なベッドコントロールを実施し、診療報酬のさらなる確保に努めていきたいと考えている。

なお、現状の累積欠損金を一気に解消するためには約15億円の現金を保有する必要があるわけだが、現在の経営状況を考慮すれば、今すぐ解消することは最優先事項として

考えておらず、まずは経営の安定化を図るため、一時借入金が必要となる3億円程度の現金の積み増しを見通しているところである。

企業局会計

質疑 下水道事業における広域連携の進捗状況は。

答 令和4年度から、秋田湾・雄物川流域下水道（臨海処理区）に関連する7自治体で協定を締結し、マンホールの点検調査やマンホールポンプ施設の保守点検など、管路包括管理の民間委託を開始している。

参加したことによる効果額として年間約300万円のコスト削減が図られている。



下水道マスコットキャラクター「スイスイ」

一般会計 決算特別委員会

9月定例会では、令和5年度一般会計および各特別会計決算案について審査するため、議会議長、副議長、議員15人で構成する決算特別委員会（小野肇委員長、三浦利通副委員長）を設置・付託しました。委員会では、市当局からの補足説明と監査委員から決算審査における総括意見を受けたのち審査を行い、いずれも全会一致で認定しました。委員会で質疑のあった中から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

一般会計

人口減少対策における産業振興について

質疑 人口減少対策においては働く場所、雇用の確保が非常に重要であり、主要な産業を育成していかなければ人口の増加にはつながっていかないと考えるが、これら産業で生計を立てようという動きに対する支援等、市の考え方は。

答 雇用の創出については、来年以降、鶴ノ崎海岸での高級リゾート宿泊施設や男鹿駅周辺でのホテルの開業、旧野石小学校を活用したバックご飯の製造工場等が予定されており、現時点で100名程度の雇用が見込まれている。引き続き、市内への企業の立地雇用の場の創出に向けた取組を積極的に進めていく。

農水産業や観光業は本市の基幹産業であり、これらの産業振興なくしては、本市全体

地域の活性化は図れないものと認識しており、引き続き、各地域の生産者や事業者、各種団体の皆様からの意見などを丁寧に吸い上げながら、実効性のあるきめ細かな施策展開を講じていく考えである。

男鹿駅周辺広場の指定管理料について

質疑 指定管理者に対し、市として具体的な指導や要望はしているか。

答 令和6年度からの第2期においては、新たなプレイヤードが加わり4者のJV（共同事業体）でスタートしており、地域と連携した取組をより一層深めていたいただきたいと要望しているところである。

このような状況の中、8月には初めて盆踊りのイベントが開催されるなど、地域と一体になるイベントが生まれてきており、市としてはこうした取組をしっかりと後押ししつ

決算特別委員会

男鹿駅前広場のイベント開催



男鹿駅前広場のイベント開催

多くの意見ありがとうございました 議会報告会開催



【男鹿中地区】「国道101号浜間口バイパスの早期完成に向けては、北部地区への観光アクセス道路として重要な位置づけとしている市の熱意と情熱が感じられない。何とか早期完成を実現していただきたい」との要望がありました。

【主な質疑・意見・要望等】

- 【戸賀】 懸案となつている沿道支障木の枝払い、大型重機等で対応しなければ解決できないのではないかと。
【防炎行政無線難聴地域の根本的な解決策を示していただきたい。】
【北浦】 胃がんの集団検診の際、75歳以上でカメラによる検診を希望する者は毎年実施できるような改善していただきたい。
【食料品アクセス困難地域で移動販売車の運用を実現していただきたい。】
【男鹿中】 各地域と車座で対応を協議するなど空き家対策に本気で立ち向かっていく考えはあるか。
【小型風力発電機の撤去を含めた対応方について。】
【椿】 能登半島地震を教訓に具体的な対応策を早急に講じていただきたい。
【男鹿版おさかなボックスオンライン事業の進捗状況やオガレでの販売体制の構築について。】
【船川】 男鹿半島ぐるっと便の利用状況について。
【船越】 船越こども園園長公募の概要について。
【脇本】 事業推進にあたっては、市内の事業者や若者を育成することが重要である。
【寒風山小展望台の修繕と活

- 【市HP】で「議会報告会報告書」を公開しています。





田井 博之 議員 (新 風 会)

子どもや社会的弱者への虐待および家庭内暴力、女性へのDV、子どもへの性的暴力について

質 現状や過去の事例について、把握は十分にされているのか。

答 本市における令和5年度の性的暴力を含む児童虐待の相談対応件数は、新規事案が17件、継続事案が17件の計34件で、年々増加傾向にある。また、高齢者や障がい者の虐待、DVの事案は、毎年数件程度で推移している。関係機関との連携の下、速やかな情報共有により早期発見に努めている。

質 現状を鑑みての対応や対策、改善はなされているのか。

答 児童虐待は、「男鹿市要保護児童対策地域協議会」で全ケースの対応方針を話し合い、対応に当たっている。また、高齢者や障がい者の虐待、DVへの対応も同様に関係機関との連携の下、組織的な対応を図っている。さらに今年度より、母子保健の拠点であるネウボラと児童虐待防止等の児童福祉の機能を統合した「こども家庭

センター」を子育て健康課内に設置し、早期発見・未然防止に向けた体制を強化している。

子ども向けのアミューズメントパークや職業体験施設、関連企業の誘致について

質 誘致の必要性はあると考えているのか。また、誘致を進める上での課題や問題点はあるか。

答 子どもや大人が楽しめる場、貴重な体験ができる場として広く県外からも集客が期待できる魅力的な施設である。

しかしながら、採算性の観点から大規模投資の妥当性とその投資分を回収する見込みが十分にあると企業から判断されなければ誘致の実現には至らない。さらに、全国的に見ても総人口や年少人口の減少が著しく、交通アクセスも決して十分と言えない本市が進出先として選ばれるのは難しいことから、市として誘致する考えはない。

質 誘致を促進する意図や意味について、今後の男鹿市の活性化につながるかと考えているのか。

答 男鹿半島には観光資源や豊富な食資源等、多様な魅力が詰まっている。今あるものに磨きをかけるなど、身近にある地域資源を生かした誘客に努めるとともに、若い世代の市内定着と回帰につながるような企業誘致に努めていく。



佐藤 誠 議員 (明 政 会)

人口減少対策について

質 市内外の若者の、男鹿に住み続けたい、男鹿へ移住したいなどの意向について、市はどう認識しているか。また、官民連携のIT企業で若者を雇用できないものか。

答 令和2年の市民意識調査では若者の約7割は市内に住み続けたい意向であった。また、県の調査では、希望職種や一定の給料水準があれば地元回帰意向があると示されている。今後、市民意識調査の実施・取りまとめとともに、転出した若者の回帰意向については、成人の集いなどの機会を捉え把握に努める。市ではDX推進計画に基づき、サテライトオフィス誘致推進事業を切り口に若者や女性の就労に親和性の高い情報産業の誘致に努めていく。

町内会の必要性について

質 町内会のない地域や町内会に加入していない方への市の対応はどうか。

答 解散した理由はほとんど高齢化による役員の成り手不足であり、市として、存続に向けた話し合いや隣接町内会への編入調整などのサポートを行ってきたものの、防災や周辺環境の整備なども住民間の協力で維持し合えることとで解散に至った例もあった。なお、町内会の有無や加入のいかんを問わず、市の広報は全世帯に配付している。避難行動要支援者名簿については、各地区の民生委員に更新依頼しており、市が集約・管理している。船川地区に連合会組織がないのは、本庁舎に近いことから、要望などを直接届けやすい環境であるためと推察している。

南磯観光について

質 鶴ノ崎海岸の今後の生かし方として、日本財団のプロジェクトを生かした整備が出来ないか。また、ゴジラ岩近くの小浜のトイレは改修すべきだ。観光地の公共トイレは洋式便器にすべきでは。

答 市内の若手民間事業者が中心となつて鶴ノ崎地区での事業実施に向け構想を練っており、期待している。公衆トイレは順次洋式への整備を進めてきている。観光スポットで洋式でない所は小浜を含め3か所あるが、いずれも老朽化が著しく、整備の整った近隣のトイレへの集約を図っていく。



太田 稜 議員 (市民クラブ)

国道101号浜間口バイパスの早期完成について

質 整備の進捗状況、早期完成に向けた対策、完成後に地域経済や観光資源の発展にどのように寄与するか、具体的な見解を求めます。

答 県では令和8年度の供用開始を目指し工事を進めている。現在まで橋梁工事や道路改良工事の一部が完了し用地取得もおおむね完了しているが、一部の地権者との交渉が難航しており土地収用法に基づき手続を進めている。また、県北方面から北部地区の観光スポットへのアクセスが格段に向上し、誘客促進面で大きな効果が期待される。さらに、沿線住民の生活の安全性向上、第2次緊急輸送道路としての機能強化、洋上風力発電事業等に伴う資機材運搬など物流機能を担う役割も期待される。

市民生活向上に向けた具体的な施策について

質 新規産業の誘致と雇用創出、地元企業の賃金引上げ支援、年金

生活者への支援策、地方創生臨時交付金の成果と今後の展望について、具体的な見解を求めます。

答 洋上風力発電事業やサテライトオフィスに関連した企業誘致に力を入れている。来以降、パツクご飯製造工場稼働やホテル開業により100名規模の雇用創出が見込まれている。また、地元企業へは設備導入の税制支援を通じて生産性向上を促し賃金引上げを支援している。年金生活者への支援策としては、社会保険料の負担軽減や現金給付が実施されている。さらに、地方創生臨時交付金は市民生活に及ぼす影響を最小限に抑え、市内事業者の経営継続にも寄与してきた。今後も新たな経済対策が講じられた際には状況に応じて支援策を検討・実施していく。

物価高騰下における地域敬老会運営の支援強化について

質 助成金の見直し、町内会運営者への補助金支給、名簿提供の改善に関する見解を求めます。

答 昨年度実績に基づき助成額を設定したもので見直しは考えていない。また、運営費用も含めて助成していることから、その中で地域ごとに工夫しながら活用いたいただきたい。名簿の電子データ化や宛名ラベル作成支援は福祉課で相談に応じる体制を整えている。



船木 正博 議員 (市民クラブ)

空き家・空き地バンク制度の現状と課題について

質 利用促進のための取組状況やニーズに合わせたマッチングへの対応策はどうか。

答 空き家バンクに登録された物件を取得した場合には通常の住宅取得に対する補助金100万円に加え、昨年度から、さらに20万円を加算する措置を講じている。ニーズに合った物件が見つかりにくい要因として、登録件数が絶対的に少ないことが掲げられ、活用可能な空き家の掘り起こしに努めている。

移住者住宅取得等支援事業について

質 移住者が直面する課題とその解決策、移住者の声を反映した支援制度の充実等について、どのような取組方をしているのか。

答 移住後のフォローアップとして、日常生活や子育てに対する不安を取り除くため、今後、移住者同士のネットワークづくりを

若者夫婦世帯への子育て支援の強化について

質 若者夫婦、子育て世帯向けへの子育て環境のさらなる充実に向けた取組状況は。

答 今年度からは子育て世帯や若者夫婦世帯の新築住宅取得に100万円を助成しており、現時点で7件の申請がある。また、子どもと家庭、子どもと地域が多世代で交流できる機会を提供している。

若者定住促進について

質 本市において、公設・民設にかかわらず、若者が集う場所や施設を設置する必要性があるのではないか、市長の見解は。

答 若者の転出拡大により地域の活力が減退する中、市内の若者が主体的に活動できる居場所づくりは、行政としても検討すべき課題の一つであり、若者が地域イベントを企画したりするためのフリースペースを設けることが大切であると考える。

【その他の質問】

●地域おこし協力隊の活用・地域の魅力発信と移住促進について



藤子 優子 議員 (公明党)

マイナ保険証の利用促進について

今年の12月2日から従来の健康保険証は新規発行されなくなり、マイナンバーカードでの健康保険証利用を基本とする仕組みに移行していく。マイナ保険証の利用促進に向けた取組について。

本市のマイナンバーカードの申請率は7月末現在98・0%、保有率は83・1%と高い水準となっている。国民健康保険のマイナ保険証登録率は、6月末現在76・0%だが、マイナ保険証の利用率は7・7%と低く、利用促進に力を入れていく必要がある。円滑な移行に向けて、各種媒体をフル活用しながら、正しい情報を広く伝えるよう取組んでいく。

リチウム蓄電池等の回収について

リチウム蓄電池等が適切な廃棄物の分別区分として排出されず、ごみ収集やごみ処理施設の破碎等で衝撃が加わった際に発火し、大規模な火災事故につながる事例がある。行政によるリチウム蓄電池、リチウム蓄電池使用製品等の分別回収が必要ではないか。

ゲーム機、デジタルカメラなどの小型家電に多く用いられているリチウム蓄電池は、電池が内蔵されたまま本体ごと燃えないごみとしてごみ収集車で回収しており、そのうち小型家電の回収量は、昨年度で、約20tとなっている。回収された燃えないごみは、八郎湖周辺クリーンセンターで人の手による分別作業を行い、小型家電はリサイクルを目的とした県内引取業者へ無償で譲渡している。処理状況には問題がないことから、現行の分別回収方法を継続する。

認知症の人に寄り添った地域社会の構築について

認知症の人の行動・心理症状の発生を抑制し、認知症の人と家族等の尊厳ある暮らしを守るための、認知症のケア技法であるユマニチュードの普及について。

「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つを柱としてケアを行うユマニチュードは、最近注目を集めている考え方や技術だが、「立つ」ためのケアについては、転倒のリスクや人員不足といった課題があり、現場では導入されていないのが実情。「立つ」ためのケアの在り方を含め、ユマニチュードの技法を学ぶ機会を提供していくの考えは。



小野 肇 議員 (市民クラブ)

新型コロナウイルス感染症の後遺症について

本市において、新型コロナウイルス感染症による後遺症や、ワクチン接種後の体調不良の報告はあるか。

後遺症に関する市への直接の相談はない。ワクチン接種後の副反応は2件の報告があった。

大規模災害発生時の対応について

南磯地区の備蓄物資保管場所はどこを想定しているか。

高台にある建物の活用を念頭に、場合によっては備蓄用コンテナの購入も視野に入れながら、備蓄物資の最適な保管場所について地元の自主防災組織と協議している。気象条件の厳しい冬季の災害においては、ストーブやテント等の寒さ対策が重要であることから、これらの整備についても併せて検討していく。

災害時の応急・復旧対応に当たる地元建設業の業者育成と安定的な公共事業量の確保について市

環境整備(草刈り)について

市道における除草の手法として、除草剤の散布を計画的に区間設定しながら、長期的試験として試みてはどうか。

散布後の雑草に住民やペットが接触することによる被害や、散布による周辺環境への影響が懸念されるとともに、市街地や農地周辺での使用については、住民から理解を得ることが難しいと認識している。

高齢化や人口減少に伴い、街区公園の環境整備(草刈り)が難しくなっている。公園敷地内を舗装することに市はどのように考えているか。

公園の緑は、見る人の気持ちや和らげ、憩いをもたらす役割があり、コンクリート舗装は公園に相応しいものではない。

街区公園の管理を含めた今後の在り方について、地域の声をよく聞きながら、市と町内会等が連携協力し、解決策を見出していく。



蓬田 司 議員 (政和会)

非認知能力を育むための保育園と小学校の連携について

非認知能力を育むための保育園や小・中学校での取組方は、子供たちの健全な成長において、読み・書き・計算等の認知能力とともに、根気強さや意欲、自制心、思いやりや協調性、コミュニケーション力などの非認知能力を育成していくことが重要である。保育園から中学校までの連続的な学びの中で、一貫性をもって非認知能力を育てていくよう、子育て健康課と教育委員会が連携し、男鹿市独自の架け橋プログラムの策定を進めていく。

小学校1年生が入学時に学校生活や学習に不安や戸惑いを感じることもなく、安心してスムーズに小学校生活に入ることができるよう、年長児と小学校1年生を対象として実施するものであり、市として重視する非認知能力の育成を盛り込む形で作成する。

猛暑や熱中症防止対策について

異常な猛暑が続く、市民の命や暮らしが脅かされているが、暑さ対策として今はエアコンが有効であると思う。学校の特別教室や体育館への設置のほか、低所得のエアコン設置希望者・生活保護世帯などへの援助が必要でないか。



安田健次郎 議員 (日本共産党)

新型コロナウイルス感染症拡大対応について

新株へ置き換わり全国的に拡大し、高額な自己負担が伴う高齢者に対する援助や、市民の感染防止対策を強化すべきでないか。

定期接種対象者である65歳以上の方や60歳以上65歳未満のうち基礎疾患を有する方には自己負担額の半額の3千500円を助成する。接種期間は10月から来年2月末まで。予防対策については市HP等で周知徹底していく。

教育行政について

「なぜ、勉強しなければならぬのか」教育長の考えと勉強する意義について。

「なぜ、勉強しなければならぬのか」このことは、多くの子供たちが抱く素朴な疑問である。勉強する理由や必要性、意義を人生という長い時間軸で考えると、「将来、役に立つスキルを磨くため」や「将来の選択肢を広げるため」、あるいは「生きる力を身につけるため」「人生を豊かにするために」と言える。

変化の激しい社会やグローバル化が進展する現在、どのような能力を育成していくべきか。特に、これからの時代に求められる能力とは何か。

一つ目は「知識および技能」、二つ目は「思考力・判断力・表現力等」で、将来の予測が困難な社会の中でも未来を切り拓いていくために必要な能力である。三つ目は「学びに向かう力、人間性等」で、学んだことを人生や社会に生かしていく資質であり、重要な要素である。これらの資質・能力をバランスよく育てていくことが、将来の予測困難な変化の激しい社会において、自ら未来を切り拓き、思い描く幸せを実現することにつながるかと考える。

予算特別委員会

全議員で構成する予算特別委員会（古仲清尚委員長、太田穰副委員長）で、付託された一般会計補正予算案等について審査し、いずれも原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員会で質疑のあった中から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

晩秋・冬季誘客強化事業（JR東日本冬季誘客キャンペーン連携事業）について

質疑 連携の内容は。

答 本キャンペーンは、JR東日本が秋田県を重点販売地域に指定して行われるもので、観光の閑散期となる冬季の需要喚起を図るため、JR県、本市を含む関係自治体や事業者が連携し、冬の秋田の魅力を最大限に活用した誘客を推し進めていくものである。

本市では、なまはげラッピング列車の運行やストロブ列車の歓迎イベント、五風やテノハ男鹿における体験型コンテンツの造成、柴灯まつりのおもてなし等を企画している。

また、JRでは事前のPRキャンペーンや各駅の装飾、駅へのポスター貼付け、旅行社への営業推進など、秋田県への送客を強化するほか、

台湾に向けたインバウンド誘客も実施される予定と伺っている。

質疑 なまはげラッピング列車のデザインの方向性など、何を狙いとするのか。

答 ACCUMをなまはげ仕様にラッピングすることで、移動そのものをコンテンツ化し、乗車すること自体を観光客に楽しんでもらいたくことを目的としている。

この後、JRとの協議の中でデザインを決定することになるが、なまはげ柴灯まつり期間とも重なることから、なまはげの迫力を十分に訴求できるデザインを中心に検討を進めていく。

地域活性化起業者（企業派遣型）受入事業について

質疑 業務内容は市民のデジタルデバイス対策、市職員の研修等としているが、派遣元



▶冬季誘客キャンペーンのロゴマーク

議案第65号に対する反対討論 安田健次郎 議員

12月1日をもって健康保険証が廃止されることを前提とした条例改正案であるが、現行の保険証を廃止する必要性はなく、マイナ保険証に移行することは容認出来かねる。

マイナ保険証の利用率は、7月時点で11・3％にとどまっており、いまだに国民の合意は成り立っていない状況である。国内の医療機関においては、漢字が読み取れない、カードリーダーの接続認証エラー、資格情報が無効、窓口負担で10割請求、電子証明の有効期限切れ等によるトラブルが相次いでおり、仕組み自体に欠陥が多すぎると指摘されているほか、特定の障がい者有する方が対応できない課題もある。また、国の医療DX推進による個人情報をつくるための制度であり、個人のプライバシーを守る意義からも決して容認できない。

60年かけて築き上げてきた世界に誇れる国民皆保険はほとんど問題がなく、国民全てが利用している現行の健康保険証については何ら変える必要はないものと考えます。

議案第65号 男鹿市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

議案第65号	市民クラブ															政和会			明政会		新風会		議決結果
	富山	船木	鈴木	吉田	太田	小野	三浦	笹川	蓬田	吉田	小松	佐藤	古仲	安田健次郎	進藤	田井	公明党	新風会					
	富勝	正博	元章	清孝	穰	肇	圭光	司	洋平	穂積	誠	清尚	安田健次郎	優子	博之	議	議	原案可決					

※小松穂積議長は採決に加わりません。
※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他の案件については、全会一致で可決されました。

委員会・分科会の動き

各常任委員会・分科会は、付託議案等と所管の予算案を審査しました。

質疑のあった主な事項は、次のとおりです。

総務

市単独運行バス事業について
質疑 市単独運行バス事業の各路線状況は。

答 船川循環線、脇本船越循環線の「おがぐる」、男鹿北線、男鹿中線、入道崎線は利用が増加しており、いずれも通院、買物等の影響と推測している。また、五里合線、船越線は「おがぐる」と運行経路が重複しており、利用者数が減少している。

質疑 北部地区から船越地区へのバス路線延伸の考えは。

答 既存のバス路線は、乗り継ぎによって目的地へ辿り着けることから、限られた財源の中で効率的なバス運行事業を実施するため、バス路線の延伸は検討していない。

第5次男鹿市行政改革大綱の進捗状況について

結婚支援について

質疑 新たな取組の考えは。

答 若い世代の結婚に対する意識の変化を感じており、様々な意見を伺いながら、あらゆる可能性を模索していく。

教育厚生

意見 市民にとって喜ばしい事業ではあるものの、歳入減少分をどう補っていくのか、また、これまで要望がありながらも解決していない課題があることもしっかりと考慮した上で、今後の市政・財政運営に取り組みていただきたい。

産業建設

報告 利用者の減少が著しく、また、運動器具の経年劣化による故障も頻発しており、令和4年度からアンケート調査

鳥ふん被害撲滅作戦推進事業について

質疑 地域住民等が自主的な

意見 デジタル化・ペーパーレス化の加速により、真に議論が尽くされているのかといった懸念に対し、現状を考慮した取組や環境整備を検討していただきたい。

清掃活動をするための高圧洗浄機などの備品の配置場所は。

答 市商工会に配置する。

質疑 音による騒音装置は町なかでの使用に問題はないか。

答 装置から流れるのはカラスの鳴き声で、音量も自然のカラスの鳴き声と同程度。カラス被害対策の専門事業者が開発した装置で、カラスにその場所が危険だと認識させる鳴き声が再生される仕組み。

質疑 今回の対策区域である男鹿駅前周辺地域以外から要望があった場合の対応は。

答 まずはその土地の所有者や地域の方々での対応をお願いしたい。同地域は何年も前から自力での対応をされた所だが、最近の被害はもはや個人の手に負えないとの判断からこのたびの事業化に至った。なお、他地域でも必要だと判断された場合は持ち運び式装置で対応していく。

男鹿市トレーニンングセンターの機能変更について

利用者の減少が著しく、また、運動器具の経年劣化による故障も頻発しており、令和4年度からアンケート調査

や意見交換会を実施し、施設の在り方を検討してきたが、このたび、トレーニンング機能を男鹿総合体育館や若美総合体育館へ集約し、健康教室やスポーツ教室等に活用する施設に機能を変更したい。

質疑 男鹿総合体育館と距離的にも近く、同類施設の集約は当然推し進めていくべきであるが、集約後における各施設の財源配分の考え方は。

答 これまで、男鹿市トレーニンングセンターに要してきた運動器具の修繕や設置要望など経費については、男鹿総合体育館や若美総合体育館に振り分けるという趣旨からも集約するものである。



▶運動器具撤去後、教室等での利用

陳情

●母（王乖彦）が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情

●地域社会に貢献するシルバ一人材センターの決意と支援の要望

●ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情

●小型風力発電装置の撤去に関する要望

●（仮称）男鹿中いりあい風力発電事業に係る計画に対する一旦中止の要望

意見書

●ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2025年度政府予算に係る意見書

1件が可決されましたので、市議会の意見として、政府関係機関へ送付しました。

市議会議員 研修会に参加

10月22日、秋田市で開催された「秋田県市議会議員研修会」に参加しました。秋田県農業協同組合中央会の小松忠彦代表理事会長の講演を拝聴し、秋田県農業の未来について学びました。



議員クラブによる 交通安全啓発活動

「秋の全国交通安全運動」期間中の9月26日、議員クラブが交通安全に対する意識高揚と啓発を目的に、市内の保育園、幼稚園を訪問し、園児たちに交通事故防止を呼びかける啓発グッズを配布しました。



～まちの未来が見える～

議会傍聴に おいでください

9月定例会は傍聴者延べ50人
「次は12月定例会」



お知らせ

議員は公職選挙法により、選挙区内で答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などの挨拶状を出すことはできません。
皆様のご理解をお願いいたします。

市議会議員一同

12月定例会の予定

11月	12月
22日 招集告示 議会運営委員会	17日 予算特別委員会 議会運営委員会
29日 本会議 (議案上程)	本会議 (表決)
3日 本会議 (一般質問)	
4日 本会議 (一般質問)	
5日 本会議 (一般質問)	
6日 本会議 (議案質疑) 予算特別委員会	
9日 予算特別委員会	
10日 常任委員会・分科会	
11日 常任委員会・分科会	



編集後記

▼激しい夏の暑さから黄金に輝く稲穂の季節を経て、もうすぐ、雪の舞う冬の季節が訪れようとしております。そんな時の移ろいの中、市内を巡り、真っ先に思い出すのは鶴ノ崎海岸の夕陽です。陽が沈むまで時間を忘れ、雑念なく、心穏やかにその風景と向き合えました。私にとつての世界遺産です。

▼100歳以上の高齢者が全国で過去最多の9万5千119人になったと発表がありました。超高齢化社会は男鹿市も例外ではなく、一人一人が住み慣れた地域で何不自由なく暮らせるように、議会での議論を深め、医療や介護など社会保障の充実を図ってまいります。
▼記録的な豪雨により亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。(小野 肇)

